

事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (426), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, and (8)施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2022-2025.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sections for (1)事業が今必要である理由, (2)市が実施する必要性, (3)参加・協働の工夫, (4)環境への配慮, (5)目標設定は適切か?, (6)事業費削減の工夫, and (7)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向. Includes a summary of the project's progress and future plans.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (427), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Footer table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (428), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	430	課コード	0505	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 あらかぎ運営事業	個別事業 給食サービス事業の充実	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・あらかぎ園			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	昭和63年度 ~		⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.1人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	20,227千円 (うち人件費 890千円)					
				(変更後)	19,682千円 (うち人件費 890千円)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	あらかぎ園と障害者福祉センターでは、一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。			事業目的	利用者の特性に応じた安全かつおいしい食事を継続的に提供することにより、利用者の生活の質(QOL)の向上を図る。					
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> あらかぎ園利用者に対し、年度を通して継続的に給食を提供する。 利用者の年齢、性別、生活活動強度に配慮して、栄養給与目標量を定める。 障害の状況により他職種の職員と連携し、ペースト食等の食形態の異なる食事を提供する。 必要に応じて代替食を提供する。 利用者からのリクエストをメニューに取り入れる機会を設ける。 食事のメニューが選択できる機会を設ける。 ○食形態の改善に向けて取り組む(ムース食導入)。			当該年度執行計画	・4~5月 アセスメントをし、栄養給与目標量・食品構成・個別対応食の作成 ・3月 令和4年度 給食調理業務委託年間契約 年度を通して、献立計画、給食品質管理、栄養・食事アセスメント、給食事務管理、購買管理、衛生・安全管理、給食調理業務委託管理、厨房機器設備管理等の実施					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	全ての利用者に、栄養バランスに配慮した安全でおいしい給食を提供する。			当該年度	直接	給食提供日数	単位	日	想定値	233
					令和4年度	直接	給食提供日数	単位	日	実績値	232
					令和5年度	直接	給食提供日数	単位	日	(5)現況値	235
										(6)目標値	235
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)		
		給食調理業務委託料	10,219	給食調理業務委託料	11,172	給食調理業務委託料	11,172	給食調理業務委託料	11,172		
		膳材料費	7,718	膳材料費	7,685	膳材料費	7,685	膳材料費	7,685		
		給食用消耗品費	233	給食用消耗品費	274	給食用消耗品費	274	給食用消耗品費	274		
厨房機器修繕料	55	厨房機器修繕料	100	厨房機器修繕料	100	厨房機器修繕料	100				
栄養士検便検査手数料		栄養士検便検査手数料		栄養士検便検査手数料		栄養士検便検査手数料					
ノロウイルス検査	40	ノロウイルス検査	40	ノロウイルス検査	40	ノロウイルス検査	40				
腸内細菌検査	10	腸内細菌検査	10	腸内細菌検査	10	腸内細菌検査	10				
給食管理システム保守委託料	40	給食管理システム保守委託料	40	給食管理システム保守委託料	40	給食管理システム保守委託料	40				
松戸保健所管内集団給食協議会負担金	10	松戸保健所管内集団給食協議会負担金	10	松戸保健所管内集団給食協議会負担金	10	松戸保健所管内集団給食協議会負担金	10				
栄養士研修旅費	6	栄養士研修旅費	6	栄養士研修旅費	6	栄養士研修旅費	6				
給食調理業務委託料(9月補正)		給食調理業務委託料(9月補正)	△481	給食調理業務委託料(9月補正)	△481	給食調理業務委託料(9月補正)					
システム保守委託料(3月補正)		システム保守委託料(3月補正)	△40	システム保守委託料(3月補正)	△40	システム保守委託料(3月補正)					
厨房修繕料から車両修繕料へ振替		厨房修繕料から車両修繕料へ振替	△24	厨房修繕料から車両修繕料へ振替	△24	厨房修繕料から車両修繕料へ振替					
予算(決算)額	合計	18,331	合計	18,792	合計	18,310	合計	19,321			
(9) 財源内訳	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
	起債	0%	起債	0%	起債	0%	起債	0%			
	一般財源	11,522	一般財源	12,091	一般財源	12,001	一般財源	12,620			
	その他の財源	6,809	その他の財源	6,701	その他の財源	6,309	その他の財源	6,701			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.4	換算人数(人)	0.1	換算人数(人)	0.1	換算人数(人)	0.1			
	正職員人件費	3,480	正職員人件費	890	正職員人件費	890	正職員人件費	890			
	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0			
	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	21,811	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	19,682	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	19,200	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	20,211			
(11) 単位費用	事業費/活動結果指標	93.21千円/日	事業費/活動結果指標	84.47千円/日	事業費/活動結果指標	82.76	事業費/活動結果指標				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスでは、食事の提供について「利用者の心身の状況及び嗜好を考慮し、適切な時間に食事の提供を行うとともに、利用者の年齢及び障害の特性に応じた、適切な栄養量及び内容の食事の提供を行うため、必要な栄養管理を行わなければならない」と定められている。 障害特性に合わせた食形態の食事を提供することはもちろん、食事内容の充実も求められており、あらかぎ園の食事は、他の給食施設に比べると、より個人に合わせた細かい対応が必要とされている。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 利用者の特性に応じた安全かつ栄養バランスのとれたおいしい給食を継続的に供給し、利用者の食を通じたQOLの向上や健康維持に寄与した。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) なし				○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				実施した具体的な内容 なし				○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(日)	目標値(b)(日)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		●①目標値達成 ○②目標値未達成	
	233	233	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(日)	232	99.57	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症で臨時休業となった日が1日あったが、サービス提供日においては、適切な時間に給食の提供を行うことができた。	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実施状況	対事業費(%)		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過
		19,682	2,129	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 ■⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 ■⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	19,200	97.55	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
	事業費削減率(%)	9.76		<削減の内容> ・人件費高騰により給食調理業務委託料の増加 ・令和元年度に利用者給食費を見直し、受益者負担の適正化を図った ・管理栄養士の移籍による人件費の削減		<超過理由等>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	1.18	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	1.21	102.54	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
						令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (433), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (435), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status, evaluation comments, and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (436), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment about the transition to integrated management from FY2022.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	439	課コード	0505	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 あらかぎ園運営事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・あらかぎ園				
	③事業主体	個別事業 あらかぎ園利用者参加行事の充実	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	昭和63年度 ~		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.27人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	当初	2,449千円 (うち人件費 2,403千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33303	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無			
(2) 目的	施策目的・展開方向	あらかぎ園と障害者福祉センターでは、一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。			事業目的	行事を通して、多様化してきているニーズにあった施設支援及び地域との交流を視野に入れた日中活動の充実を目指す。					
(3) 事業内容	内容	園外活動 施設交流会 我孫子市絵画展 ウルトラ運動会 年忘れ会 成人式			当該年度執行計画	・園外活動 (9月~12月) ・施設交流会 (7月、11月) ・我孫子市絵画展 (10月) ・ウルトラ運動会 (8月) ・年忘れ会 (12月) ・成人式 (1月)					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	人	想定値	77	
当該年度	利用者に見合った行事を実施することで、利用者や保護者が楽しんで行事に参加する。				直接	あらかぎ園利用者の参加率	%		実績値	150	
令和4年度	利用者に見合った行事を実施することで、利用者や保護者が楽しんで行事に参加する。				直接	あらかぎ園利用者の参加率	%			77	
令和5年度	利用者に見合った行事を実施することで、利用者や保護者が楽しんで行事に参加する。				直接	あらかぎ園利用者の参加率	%			100	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		福祉バス借用燃料費	50	福祉バス借用燃料費	30	福祉バス借用燃料費	30	福祉バス借用燃料費	30		
		有料道路・駐車場使用料	11	有料道路・駐車場使用料	6	有料道路・駐車場使用料	6	有料道路・駐車場使用料	6		
		施設入園料	11	施設入園料	7	施設入園料	7	施設入園料	7		
普通旅費	8	普通旅費	3	普通旅費	3	普通旅費	3				
予算(決算)額	合計		80	合計		43	合計		46	合計	46
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0
	一般財源		80		43		46		46		46
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.37		0.27		0.37		0.37			
	正職員人件費	3,219		2,403		3,293		3,293			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	3,299		2,446		2,419		3,339			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	42.84千円/人		31.77千円/人		16.13						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	利用者の多様化、重度化、高齢化が問題となってきた中で、障害程度に関わらず、障害者のより豊かな地域生活を実現するためには、通常の支援以外の行事なども充実させることが求められている。				○①事前確認での想定どおり ●②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 今年はコロナの影響で、実施できない行事もあった。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 市が主導で進めることで、障害者の豊かな地域生活を実現できる。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		園外活動と年忘れ会にボランティアの参加あり。		登録ボランティアの協力を得ながら実施している。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
環境に配慮して事業を進めているか？	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他						●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	○①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> コロナの影響で、中止になる行事もあった。	
	77	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		50	50			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	実施予定の対策		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	2,446	853	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		2,419	98.9			
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
	25.86								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> コロナの影響で、全ての予定を完遂できなかった。		
	4.09	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100			
		%	10万円		2.07	50.61			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	442	課コード	0505	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 あらき園運営事業	個別事業 リスクマネジメント	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・あらき園		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	昭和63年度 ~		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.33人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	3,254千円 (うち人件費 2,937千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33303	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		
(2) 目的	施策目的・展開方向	あらき園と障害者福祉センターでは、一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。			事業目的	施設サービス提供における様々なリスクをあらかじめ把握し、未然に防ぐ。また、万が一事故や災害が起きてしまった場合のための危機管理対策を講じる。				
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク予防対策として「支援共有シート」報告の実施 ・リスク管理対策として事故発生時における対応のフローチャート作成 ・災害時における対応マニュアルの作成及び周知 ・防災訓練の実施 ・防災用消耗品の購入及び管理 ・消防設備の維持管理 ・苦情解決制度の実施 ・施設損害賠償責任保険に加入 			当該年度執行計画	事故、苦情、要望、意見、「支援共有シート」報告については、解決の過程を明確にし、記録を残し、定期的に担当者及び施設長との検討会を実施し、検討結果については、全職員に周知する。災害対応マニュアルを作成し全職員に周知を行うと共に、災害・事故等を想定した訓練を年間3回実施する。併せて、防災用消耗品の購入・管理を行なう。また、事故に備えた施設損害賠償責任保険に加入する。				
		当該年度活動結果指標	事故、支援共有シート、防災訓練の検証・検討会の実施回数	単位	回	想定値	18	実績値	18	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	利用者支援におけるリスクを最小限にするため、職員の危機管理意識を高める。			直接	事故、支援共有シート、防災訓練の検証・検討会の実施率		%	100	100	
令和4年度	利用者支援におけるリスクを最小限にするため、職員の危機管理意識を高める。			直接	事故、支援共有シート、防災訓練の検証・検討会の実施率		%		100	
令和5年度	利用者支援におけるリスクを最小限にするため、職員の危機管理意識を高める。			直接	事故、支援共有シート、防災訓練の検証・検討会の実施率		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		防災用消耗品	78	防災用消耗品	70	防災用消耗品	72	防災用消耗品	72	
		障害者施設総合補償制度	353	介護保険・社会福祉事業者総合保険	245	介護保険・社会福祉事業者総合保険	245	介護保険・社会福祉事業者総合保険	245	
		* 障害福祉サービス事業所への福祉避難所物品整備事業分(9月補正)	724							
予算(決算)額	合計		1,155	合計		317	合計		317	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	100%	724	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源			431			317			317
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.33		0.33		0.33		0.33	
	正職員人件費		2,871		2,937		2,937		2,937	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		4,026		3,254		3,252		3,254	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	223.67千円/回		180.78千円/回		180.67					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	福祉サービスにおいて、利用者の安心や安全を確保することが基本であり、事故防止対策を中心とした福祉サービスにおける危機管理体制の確立が必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 福祉サービスにおいて利用者の安心安全の確保が基本である。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 市が運営する施設なので、市以外では実施できない。安全で快適な利用を実施するために、施設の維持管理を実現することは、市の責任である。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 客観的なデータに基づき設定したため。		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		実績値(g)(千円)	対事業費(%)	○①想定事業費未満 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要
	3,254	772	<削減の内容>		3,252	99.94	<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	3.07	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%)	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナ対応で事業が縮小されたため。		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)					評価コメント				
事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは、結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
					令和4年度からは、結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2194), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and financial data for fiscal year 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for current status and evaluation comments.